

町民と協働の まちづくり



わが町 二宮町

二宮町は、神奈川県西部に位置し横浜から四十km圏、東京からは七十km圏の位置にあり、町の形状はおおよそ三角形で南部は東西に三・三km北に進むにしたがって狭くなり南北に三・八km、総面積九・〇八kmと県内で三番目に面積が小さい町です。

地形的には、南部の海岸部から連な

る平野部と北部の山間部及び中央部を南北に流れる二級河川の葛川とその支流による侵食谷部から構成されていて、平野部と比較的穏やかな斜面部の殆どは宅地化されており、その他の傾斜地部分はミカンを中心とした果樹園、畑地等の農地と山林に二分されている。

気候は、湘南の名の通り温暖な太平洋気候で冬は暖かで夏は涼しいです。

又、豊富なオゾンと新鮮な海の幸山の幸に加え純朴な風土とすばらしい生活環境により長寿の里として親しまれた町です。

町域の約半分は市街化調整区域で、



せせらぎ公園

農地や山林が緑の供給源となっていて、良好な住環境をつくり出しています。

また自然との調和については、風致地区に指定されていた吾妻山一帯を公園として整備し「吾妻山公園」となっております。

ここからは遠く伊豆半島や富士の雄姿が眺望でき、春まだ早い頃から菜の花が一面に咲き、サクラ、ツツジ、アジサイ、コスモスなど四季折々の花が次々と園内を彩り、花を訪ねて多くの人々が訪れて来ます。展望広場の芝生では、子どもたちがあふれる陽射しの中で飛び回り、思いきり自然を満喫、緑豊かな公園は子どもからお年寄りまで安心して楽しめる憩いの場所となっております。

そして、水の公園として親しまれている「せせらぎ公園」はアヤメ、ハナシヨウブ、スイレン、などが咲き、水音を聴きながら写真を撮ったりのんびり散策したり、思い思いに楽しむ人が多く、ともに町の自然資産であります。

この自然環境を維持保全することから循環型環境社会の実現等に取り組み、バリアフリー等にも配慮し、災害に強く、そして安心して暮らせる町を町民参加による町民と協働のまちづく

りを展開しております。

近年、里山の整備保全に対する高まりにより、里山再生育成事業を立ち上げボランティアを募集、また町民の参加による、下刈り、除伐、間伐や炭焼き及びシイタケの植菌教室等を開催し里山再生及び育成に努力しているところであります。

今後も引き続き、農地や里山などの自然が維持されるとともに、自然とともに生きる暮らしや知恵、自然の恵みに感謝する文化が培われてきたということが、時代の大きな変化の中で失われないう残す努力を行なって行く必要があります。



吾妻山